

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。
※本体はステンレス鋼を使用していますが、塩分や食物、油分などの付着によりサビる場合があります。

本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
※本体内側の汚れが落ちない場合には、酸素系漂白剤をご使用ください。(濃度5%、時間30分が目安)
その際、フタ・中栓を開めずにおこなってください。

フタ・中栓

フタ・中栓は丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンを中栓から取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

△お手入れ上の注意

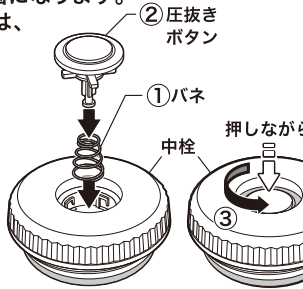
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 圧抜きボタンを中栓に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やフタ・中栓の煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体・フタ・中栓の浸け置き洗いはしないでください。
- においが気になる場合は、ぬるま湯に食酢を加え、その中ですすぎ洗いをしてください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

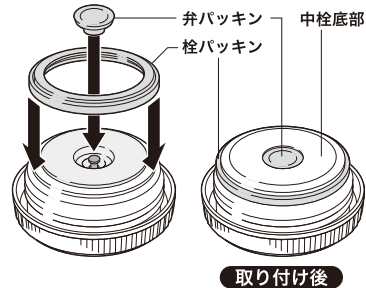
圧抜きボタンの取り付け方

①バネを中栓にはめ込みます。このときバネの幅が広い方が中栓側になるようします。②次に圧抜きボタンを中栓の凹凸に注意しながら③奥までしっかり差し込み、押しながら右図の矢印方向に回転させロックします。
※きちんと抑えないと飛び出てくるので注意してください。



栓パッキンの取り付け方

栓パッキンの溝がある方を上にして図の位置の全周にわたって、はめ込んでください。取り付けたら指で押し、浮き上がっている部分がないことを確認してください。



弁パッキンの取り付け方

圧抜きボタンと中栓底部の凹み部分に弁パッキンを合わせてはめ込んでください。

注意
パッキン位置、形状がことなることが御座います。現物の確認をお願いします。
パッキンがはずしにくい場合は先端が柔らかい棒(つまようじ等)を差し込んではずしてください。
パッキンが破損しないように注意してください。

●パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから

アトラスオンラインショップ

<https://www.atlasonline.jp>

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ポットの内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水分に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置したあと、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、フタを取り付けず、3時間程放置したあとに柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品番	AFPN-400	AFPN-500	AFPN-650
品名	ステンレスフードポット		
材料の種類	本体	内びん/ステンレス鋼	
		胴部/ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)	
		口金/ステンレス鋼	
	フタ	ポリプロピレン	
	中栓	ポリプロピレン・ステンレス鋼	
	圧抜きボタン	トライトン樹脂・ステンレス鋼	
	パッキン	シリコーンゴム	
実容量	0.42L	0.5L	0.65L
保温効力	64℃以上(6時間後)	68℃以上(6時間後)	73℃以上(6時間後)

※保温効力とは室温20℃±2℃において製品に熱湯を中栓の下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になったとき、フタ・中栓をして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

表示者 株式会社アトラス

〒192-0046 東京都八王子市神明町4-7-15 落合ビル2F

<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ

TEL.042-660-8870

受付時間/9:00~18:00

月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お問い合わせの販売店までご連絡ください。

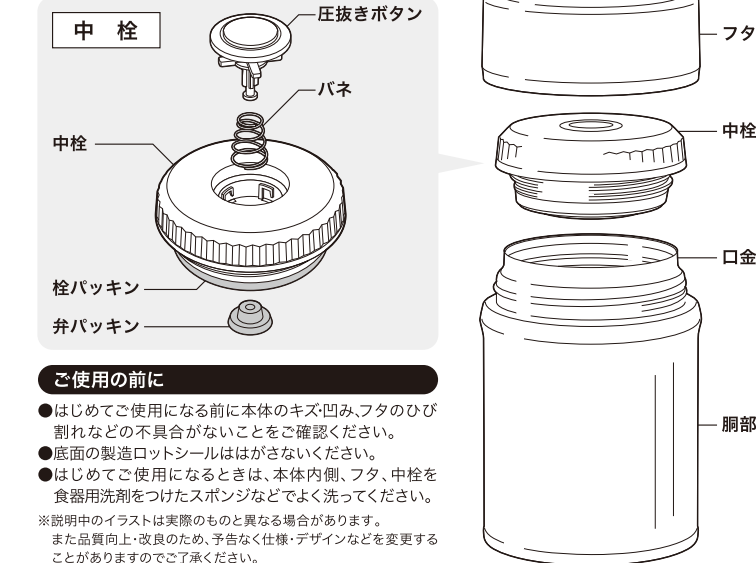
取扱説明書

ステンレスフードポット

AFPN シリーズ

このたびは、当社のステンレスフードポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

●各部のなまえ



ご使用前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ凹み、フタのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
 - 底面の製造ロットシールははがさないください。
 - はじめてご使用になるときは、本体内側、フタ、中栓を食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
- ※説明中のイラストは実際のもとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

△ ご使用上の注意

- △ ● お子様だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
やけどの原因となります。
- 注 意 ● 飲食物の保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。

- 熱い飲食物を入れた場合、次の点を必ずお守りください。
- 断熱効果により、熱い飲食物を入れても外側は熱くなりませんが、飲食物は熱いので注意してご使用ください。
 - 傾けた状態、または顔を近づけた状態でフタ・中栓を開けないでください。
内圧が上がり、飲食物が急激に出たり、飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
 - 直接飲む場合は、急に傾けたりせずによくゆっくりと傾けながら飲んでください。また、スプーン等ですくいながら食べてください。急に傾けると、飲食物が勢いよく出てやけどなどの原因になり危険です。
 - 絶対に振らないでください。飲食物が噴き出すことがあり危険です。
 - 熱い飲食物を入れた場合は、数十秒おいてから中栓をしてください。

- 熱い(冷たい)飲食物を入れてください。
飲食物は30～45℃程度が最も腐敗しやすい温度です。
- 飲食物の量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとフタ・中栓が開かなくなったり、閉めたときに飲食物が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
キズや溢れる原因となります。

- パッキンが正しく取り付けられていることを取扱説明書7ページの図を参考に確認してご使用ください。
飲食物が漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。
栓パッキン、弁パッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

- フタ・中栓を閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲食物が溢れ出す原因になります。また漏れて、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- フタ・中栓が確実に閉まっていることを確認してください。
閉め方が不十分ですと、傾けた場合飲食物が漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 本体の口金に熱いやかんなどをあてないでください。
口金の変形・キズ、転倒してやけどなどの原因となり危険です。

- 製品の構造上、湿度が高いときにフタ・中栓に水滴がつく場合があります。
ご注意ください。

- 飲食物を入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

- アルコール類は入れないでください。
- 次のものは絶対に入れないでください。
- ドライアイス・炭酸飲料
内圧が上がり、フタ・中栓が開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、フタ・中栓が破損して飛散することがあり危険です。
 - 腐敗しやすい生もの・乳製品など
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、フタ・中栓が開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、フタ・中栓が破損して飛散することがあり危険です。

- においの強いものを入れたと、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

- 飲食物を入れた状態で長く放置しないでください。
腐敗や発酵によりガスが発生して内圧が上昇し、中栓が開きづらくなったり飛び出し、けがやものを汚す原因になります。

- 飲食物を入れた状態で中栓が開かなくなった場合、製品を温めたりはしないでください。
内圧の上昇とともに中栓の剛性が弱くなり、中栓が飛び出したり飲食物が噴き出るなど、けがやものを汚す原因になります。

- 飲食物はできるだけ早く、一度にお召し上がりください。
長時間保存すると飲食物の色や味が変わります。6時間以内を目安にしてください。

- 落としたり、ぶつかけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また、フタ・中栓の破損原因になります。

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因となり危険です。

- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
持ち運ぶ際は、フタをきちんと閉め、本体を持ってください。

- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。
また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

- 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。

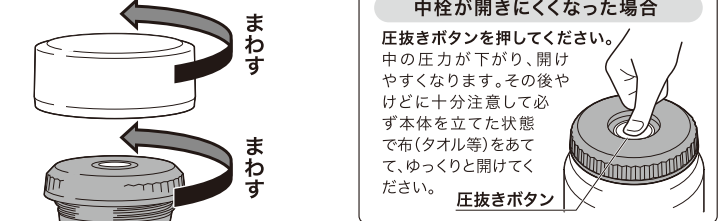
- 車の中など高温になる場所には放置しないでください。

ご使用方法

- ご使用の前に ● はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
● 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、使用しないでください。

1 フタ・中栓をはずす

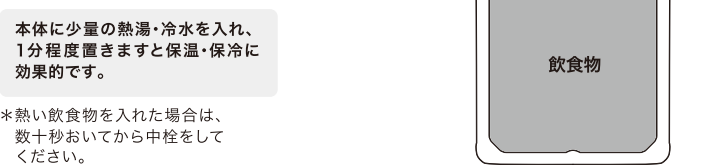
フタ・中栓を矢印の方向にまわしてははずす。



＊熱い飲食物を入れた場合は、やけどに十分注意してください。直接飲む場合は、急に傾けたりせずによくゆっくりと傾けながら飲んでください。また、スプーン等ですくいながら食べてください。

2 飲食物を入れる

飲食物の量は右図 → 部までにしてください。入れすぎると、中栓を閉めた時に内容物があふれたり、中栓が閉まらない場合があります。



3 中栓を閉める

中栓を矢印の方向にまわして閉める。

＊中栓を閉める際はパッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。

＊中栓を閉める際、噛み合わせがゆるいと本体との間に隙間ができます。隙間がないようにしっかりと噛み合わせて閉めてください。

4 フタを閉める

フタを矢印の方向にまわして閉める。

＊フタ・中栓を開け閉めするときは、本体を立てた状態でおこなってください。絶対に傾けたり揺らしたりしないでください。飲食物が溢れたり、漏れたりするおそれがあります。

＊熱い飲食物を入れた場合は、噴き出すことがあります。絶対に振らないでください。

中栓の分解方法

- ① 圧抜きボタンを押し、弁パッキンはずします。
- ② 圧抜きボタンを押しながら矢印の方向へ回転させ、上に引き抜きます。

